



RCE Hyogo-Kobo の取り組み 2021年度

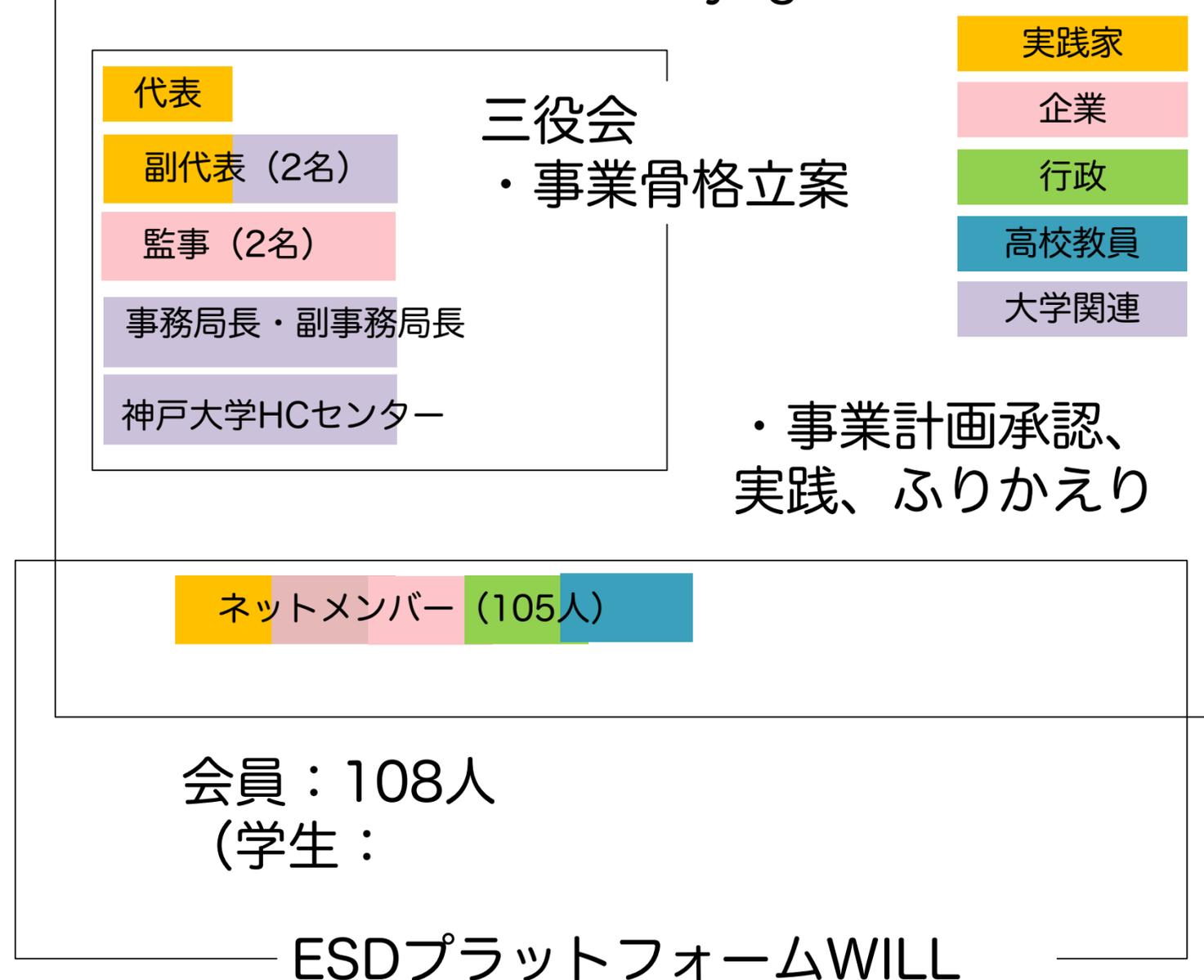
ESD推進ネットひょうご神戸

2021年度の運営体制

- 現在、会員数は105名
事務局は三役会と神戸大学HCセンター
- 三役会
代表 : 野崎隆一 (神戸まちづくり研究所)
副代表 : 西谷寛 (海と空の約束プロジェクト)
武田義明 (元神戸大学)
監事 : 長谷川俊、齋藤優子 (コープこうべ)
- 事務局長 : 清野未恵子 (神戸大学)、副事務局長 : 高田知紀 (兵庫県立大学)

運営協力組織 : ESDプラットフォームWILL

ESD推進ネット (RCE Hyogo-Kobe)



2021年度の運営体制

- ・運営委員会の開催

(2021/5/31、6/29、8/6、12/12、2022/1/29※)

※兼 日本福祉教育・ボランティア学習学会第28回こうべ大会 実行委員会

- ・分散型ESD体験プログラムワーキンググループの設置

(2021/5/8)

4

- ・ESD車座トークタスクフォースの設置

(2021/12/13)

- ・三役会

(2021/4/8、4/29、5/18、6/18、7/9、8/28、11/14、12/12、12/3、2022/2/9)

実施プロジェクト（1）

第6回ESD実践研究集会

テーマ決定までのプロセス、当日の発表・意見交換の場を通して、実践と理論を往還しながら、自身の活動をESDとして捉え直す機会

● 「ネットワークキングの4次元化ー新しいつながり方とSDGsー」

● オンライン（ZOOM）開催

● 2021年9月19日（日）、20日（月・祝）

● プログラム
＜1日目＞

-自由研究発表

-活動報告セッション・ランチタイム

-基調シンポジウム

「持続可能な社会に向けての新しいつながり

小泉 雅弘氏（NPO法人さっぽろ自由学校「遊」）

菅野 拓氏（大阪市立大学）

● プログラム
＜2日目＞

-リレートークセッション

-ESDカフェ

「Dialogue for いのち～“つながり”ってなんやねん!?

by ESDプラットフォームWILL

-総合討議

実施プロジェクト（1）

第6回ESD実践研究集会

成果

参加者 87名

<1日目>

-自由研究発表 12題（5題は高校生）

-活動報告セッション 9団体

-基調シンポジウム

RCE 北海道道央圏とのコラボ！

「持続可能な社会に向けての新しいつながり」

小泉 雅弘氏（NPO法人さっぽろ自由学校「遊」）

菅野 拓氏（大阪市立大学）

プログラム

<2日目>

-リレートークセッション 14名

-ESDカフェ

「Dialogue for いのち～“つながり”ってなんやねん!？」

by ESDプラットフォームWILL

-総合討議

「ネットワーキングの4次元化—新しいつながりとSDGs」

<参加者の声>

- ・異なるテーマの活動の状況を知ることができた
- ・コラボ企画のきっかけを得た
- ・世界的な動向と自分の活動の関係を考えた
- ・持続可能な開発を大切にする多くの人との出会いのきっかけを得た。

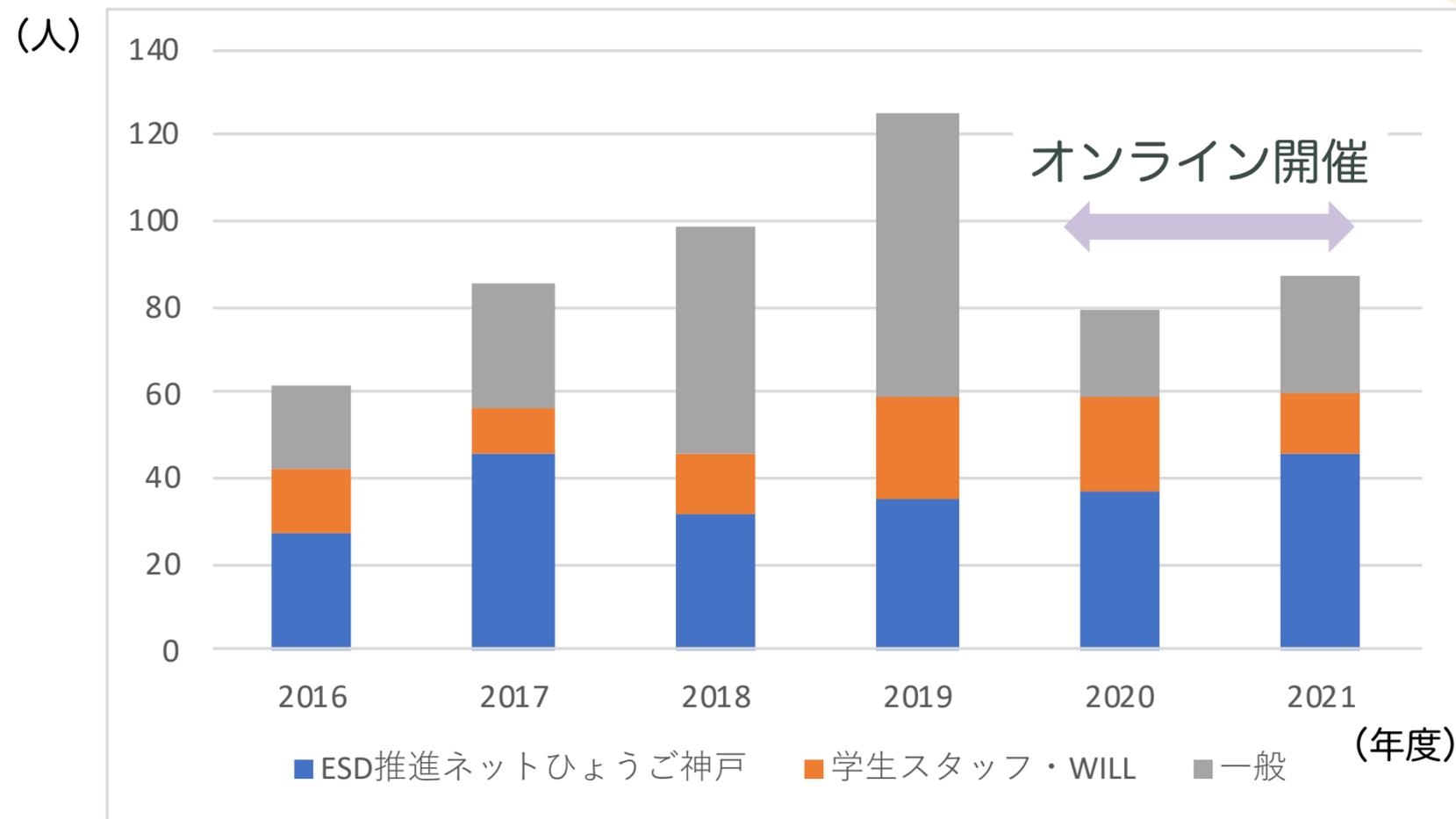
実施プロジェクト (1)

ESD実践研究集会

実践者としての成果

- 6年間継続することによるしっかりとした地盤が作られたように思える
- メンバーが「研究と実践を往還する」ことの意義やおもしろさに理解を示している
 - 「ネットワークの4次元化」といった他ではみられないようなテーマにも挑戦してみようという動き
 - オンラインと対面のよさを活かした実践の可能性を感じた
 - 実践者の実践者としての実践者のための企画づくりが大切
(運営者と参加者が一体となった運営)

研究集会の参加者数



実施プロジェクト（2）

ESD車座トーク

ESD推進ネットやユース（ESDプラットフォームWILL他）のメンバーが集まって、互いの活動内容について知り、日常的なみんなの交流の機会とする。

ESD推進ネットのメンバーから27名が話題提供

頻度：月に一度開催

コーディネーター：メンバーの中から1名

登壇者：2~3名（多様な分野の組み合わせ）

	登壇者	コーディネーター	参加人数
第1回1/4	西谷寛／西谷真弓／バハラム・イナナル	高田知紀	22名
第2回2/9	高田知紀／小澤昌甲／福井康代	齋藤優子	17名
第3回3/9	多木和重／壺井宏泰／山村けい子	福井良子	16名
第4回4/29	高尾千秋／大福聡平	池田拓也	24名
第5回6/9	野崎隆一／吉良佳晃／佐々木宏昌・小林正典	高田知紀	22名
第6回7/9	坂西卓郎	清野未恵子	19名
第7回 8/9	天野雅夫／伊藤真之	松岡広路	17名
第8回 10/9	鈴木武／西本広幸／鬼澤康弘	齋藤優子	15名
第9回 11/9	津田英二／寺内真子／中村信太郎	鴨谷真	16名？
第10回 12/9	武田義明／小林洋司	野崎隆一	18名？
第11回 1/9	福井良子／吉澤正徳	長谷川俊	15名



実施プロジェクト（2）

ESD車座トーク

気づいたこと・学んだこと

- ・参加者からは
 - 普段の会議では会えない方の話を聞いてよかった
 - 一次の動きの呼び水にもなったのではないかとといった声があり、定期的でフランクな交流が、メンバー間の関係を深くする契機になっている。
- ・実務者としても
 - オンラインでのコーディネートスキルが向上
 - 1年間の実施を経て「ESD車座トークタスクフォース（4名）」が結成され、今後のさらなる発展が期待される

早く（本来の）対面形式で開催したいです！



実施プロジェクト（3）

ESDスタディツアープログラムの再始動

スタディツアープログラムとは、持続可能な社会づくりのために行われている活動の現場に参加するためのプログラム。現場の臨場感や現場の人たちに出会うことで、「地球といのち」を大切にす新しいライフスタイルを学んだり生み出すための仕組み。

成果

- 甲南女子大学のGCPフィールド演習の一環で、スタディツアープログラム活動登録団体の中から4つの団体に合計14名が参加した。
- 2021年12月15日から、神戸大学の「ESD生涯学習論B、ESD論B」の科目履修生144名がスタディツアープログラムから活動に参加した（2022/1/23以降、再びコロナ感染拡大により中止）



連携プロジェクト（1）

● WILL主催事業（2021年度：2021/4～2022/1）

あらゆる人が関わりながら「持続可能な開発（SD）」を実現できる社会を創っていくための多層多元的な〈出会い〉や〈つながり〉のあり方・方法を、メンバー自ら動きながら考え、社会に提案する。

- 定例ミーティング（1回/月） 全10回
4/21、5/19、6/16、7/21日、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15
2022/1/19
- WILL研究会（2回/月） 全19回
4/14、28、5/12、26日、6/9、23、7/14、28、8/11、9/8、10/13、
27、11/10、24、12/8、22、2022/1/12、26、2/9
- 季刊WILL（発刊日） 全2回 7/28、11/20
- WILL総会 5/12
- WILL青空のつどい
5/4 @神戸大学キャンパス内
6/27、7/18 @明石市望海浜
11/7 @神戸市長田区まちあるき
- 被災地支援・多大学プラットフォーム交流会
4/23、5/20、6/20、7/25、9/24、11/2、11/29、12/23、1/11、22
- 第6回ESD実践研究集会・ユース企画@Zoom 9/19、20
- WILL夏のワークキャンプ 於：岡山県長島・邑久光明園 8/19～25
- 農村レジリエンスプロジェクト
熊本県八代市坂本町 7/2～4、丹波篠山 2022/1/30
- WILL冬のESDボランティアプログラム 於：岡山県長島・邑久光明園
2022/1/15
- ESDボランティア論×WILL共同企画すだち収穫
於：岡山県長島・邑久光明園 9/23
- クラウドファンディング 8/5～10/23
- アデナウアー財団×東海大学×WILL共同企画SDGsユースカンファレンス
@Zoom 10/28
- WILLカフェ 活動報告会/年末ふりかえり交流会 12/18
- 3月以降
- 大船渡3月訪問プロジェクト（岩手県大船渡市赤崎地区）・春創成合宿

連携プロジェクト（2）

● WILLとのコラボ（ピックアップして紹介）

- アクション事始め 於：各協力団体 2021/1～3
- 青空のつどい
「明石市望海浜訪問」海と空の約束プロジェクト・西谷さんのフィールド（6/27、7/18）
「被災地まち探訪」神戸まちづくり研究所・野崎さん（11/7）
- ESDスタディツアープログラム コーディネート（2021/12～現在）
- 農村レジリエンスプロジェクト 丹波篠山訪問（2022/1/30）
吉良農園さんのフィールド
- インフォーマルな情報交換と相互交流がうまれている



ESD FOR 2030の優先活動分野との関連

ユースのエンパワメント

→ユース主体の様々な活動を支援

ローカルコミュニティ

→ESD実践研究集会

政策的支援

→各メンバーが個別に支援

変容学習とそのための環境整備

→神戸大学ESDコース、灘高等学校、北須磨高校、神大附属、etc

教育者の育成

今後の活動の方向性

- ・これまでの地道な活動を継続
- ・日本福祉教育・ボランティア学習学会第28回こうべ大会 の開催支援
- ・ESDスタディツアープログラムの活性化
- ・メンバー間のコラボ企画
- ・RCE間ネットワークの強化
(すでにメンバーが有する国際的ネットワークを活かす形で)
- ・多世代間交流企画の活性化